

がんは誰にでも起こる可能性 毎年の検診で危険性を減らそう

◆がんのことをきちんと知って予防に役立てましょう

●日本人の死亡原因の第1位は「がん」です

現在わが国における主要死因の第1位は、がん(悪性新生物)です。これは、昭和56年以来変わっていません。日本人の年間死亡者数約120万人のうち、がんによる死亡者数は約36万人です。約3人に1人ががんで亡くなっていることとなります。

主な発生部位について最近の死亡率・死亡割合を見てみると、男性は第1位・肺がん、第2位・胃がん、第3位・大腸がん。女性

は第1位・大腸がん、第2位・肺がん、第3位・胃がんです。がんは、依然として増加の傾向をみせています。

●がん細胞はどうしてできるのか

私たちの体は、約60兆個の細胞からできています。毎日数千億の細胞が死ぬとともに、細胞分裂をして新しい細胞が生まれます。

細胞分裂では、細胞を作るための設計図であるDNAを正確にコピーする必要があります。しかし、コピーの時にミスが起きてしまうと、突然変異が起きてしまいます。DNAに突然変異を起こした細胞の多くは死にますが、DNAの特定部分に異状が起けると、細胞は

死ぬことができなくなり止めどなく分裂を繰り返すことになりま。この「死なない細胞」が、がん細胞です。

最近の研究では、健康な人でも1日に5,000個のがん細胞ができていて、毎日免疫細胞の働きによって退治されていることが分かっています。その免疫細胞がたつた1個のがん細胞を見逃すと、それがどんどん分裂してがんという病気になるります。

●がんは防ぐことが難しい病気を
検診を受けて危険を減らそう

どんなに健康的な生活を送っていても、がんになる恐れはあります。がんができる原因が10とすると、3がたばこ、3がたばこ以外の生活習慣、残りの4は人間にはどうすることもできないものです。ですから、がんを防ぐためにはがん検診が欠かせません。

がん細胞の大きさは1ミリの100分の1です。がんの大きさが1センチになるには、10億個のがん細胞が必要です。そして、検査で発見できる1番小さながんの大きさが1センチです。検査で発見できる大きくなるまでには、10年以上の時間が必要となります。

早期がんは、2センチくらいまでのものを指します。そのため、この1〜2センチのうちに見つけることが大事です。1センチのがんが2センチになるための時間は、約1年半です。早期に発見できる時間は限られているので、検診を1〜2年ごとに受けなければ、がんを早期に見つけることができません。

また、こうした検診を受け早期に発見できれば、がんで死亡する危険を50〜20割減らすことができます。

●町では今月にごん検診を実施します
ますのでぜひお申し込みを

町では、今月にごん検診を実施します。

4月に配布した「健診希望調査票」でがん検診を希望した皆さんには、検診セットが届きます。「調査票」にて希望していただけても、事前にお問い合わせいただければ検診を受診できます。

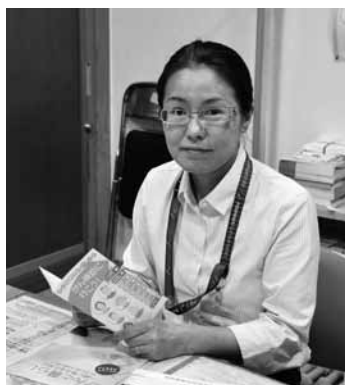
年に1度のがん検診を利用して、がんの早期発見・早期治療に役立てましょう。

あゆみだより

がん

の話

このコーナーでは、毎月、町総合保健福祉センター職員である保健師、社会福祉士などが、健康や福祉、介護、健康診査などに関する情報をリレー形式でご紹介します。



今月の「あゆみだより」は
木村 真澄 保健師

日本人の死因で1番多い「がん」。どんなに健康に心掛けている人でもかかる可能性がある怖い病気です。しかし、がん検診を定期的を受診することでがんの早期発見・治療開始ができますので、皆さんも検診を受けに行きましょう。